



音楽を聞きなさい、音楽を作りなさい スワミ・アカンダーナンダ

「テンプルの中にいなさい」のサツァング

シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブ動画配信

2020年4月23日 木曜日

ナマステー。ようこそ。

私たちはシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールにいます。

私たちはバガヴァーン・ニッテャーナンダ・テンプルにいます。

私たちはシュリー・ムクターナンダ・アーシュラムにいます。

私たちはライブ動画配信を通してサツァングに参加しています。

グルマーイはこれらのサツァングを、「テンプルの中にいなさい」と名付けました。

グルマーイの恩恵により、世界中がロックダウンのこの期間中、私たちは時間を最大限に活用しています。シッダ・ヨーガの道では、たくさんのシッダ・ヨーガの修行があります。これらの修行は、シッダ・ヨーギが大いなる自己の体験と解放というゴールに焦点を当て続けながら、日常生活の中で最大限の注意を払ってサーダナーを行い、シッダ・ヨーガの教えの知識を実行するための支えとなります。

私は46年間、シッダ・ヨーガの道を歩んでいます。1974年に初めてバーバ・ムクターナンダに会い、バーバからシャクティパートを受け取ると、私の人生の目的は極めて明確になりました。

やりたいことがはっきりしました。それはシッダ・ヨーガのミッションのために奉仕をすることでした。

子どもの頃から、私はクラシックギターを学んでいたのも、シッダ・ヨーガの道を歩き始めた当初、音楽と強いつながりがありました。しかし、私の人生をアーシュラムでの生活にささげると決意した時に、ギターを演奏する必要はないと思いました。

しかしながら、私が音楽家でギターを弾くことをグルマリーが知ると、彼女はそれを続けるよう私に勧め、多くのサツァングで演奏するように求めました。ご存じのように、シッダ・ヨーガの道の主な修行の一つはチャンティングです。チャンティングは、アーシュラムの日課の主要素の一つでもあります。

私はグルマリーの助言を受け入れると、シッダ・ヨーガのチャンティングの演奏方法や、古典的なインドのラーガでの即興演奏を学ぶ機会を得ました。この音楽を演奏する時、それは自然に私のマインドを、それぞれの音の純粋な響きを味わうことに引き寄せます。そうして味わうことは、私のマインドと心に調和と静寂をもたらします。

長年にわたって、チャンティングと音楽全般はあらゆる活動を浄化する力を持っていることを、私はグルマリーから学びました。何年も前、グルマリーの要請で、私はニッテャーナンド湖周辺の景観を美しくする庭園プロジェクトで、セーヴァーをささげていました。この素晴らしい仕事をする中で、母なる大地をたたえたいと思いました。そうするにはどうすれば一番良いか、グルマリーに尋ねました。

グルマリーは一瞬沈黙し、地平線の方を見ました。彼女は言いました。「チャンティングしなさい。女神へのマントラ、大地であるブーミ・デーヴィーへのマントラをチャンティングしなさい」。私がこのセーヴァーをささげた長い年月、ニッテャーナンド湖の敷地を歩き、移動する時はいつも、それらのマントラをチャンティングしました。植物、樹木、水、土で成し遂げていた仕事に

加え、チャンティングを通して、私は母なる地球に対する新たな畏敬の念を感じ、そして自然の神性へのより強い気づきを育む体験をしました。

インドの教典では、「サンギートゥ ハイ ヨーガ」と言います。音楽はヨーガということです。音楽は神との融合への道です。なぜなら、すべての音——つまりすべての音楽——は、最初は神から発せられたものだからです。教典は、神は音を通してこの宇宙を創造した、と述べています。従って、音楽の音の振動をたどると、源へと、神へと戻ることができます。大いなる自己へと戻るのです。

音楽を作ったり聴いたりする時、私たちの存在全体——肉体、マインド、感情、心、そして魂——が関わります。音楽を作ることは、それら私たち自身のすべての側面のバランスを取り、まとめる力を持っています。音楽は、私たちのシッダ・ヨーガのサーダナーにとってまさに偉大な支えです。インドの教典が言うように、音楽はヨーガなのです。

私は音楽の経歴を持つシッダ・ヨーガのスワミの一人なので、SYDA ファウンデーションのシッダ・ヨーガ・ミュージック・アンサンブルでセーヴァーをささげる機会があります。私は、グルマリーがいかに全身全霊で歌うか、いかに音楽の質感や構造と完全に同調するかを目の当たりにすることができるので、このセーヴァーをささげることを大切にしています。グルマリーがいると感じる「音楽のゾーン」に私が入って行く時、グルマリーの全存在がチャンティングの音になるのを体験します。それは私に、チャンティングしている時、私のグルとチャンティングは一つで同じであるという確固とした信念を与えます。そしてこの神性に没頭する時、私もまた、それと一つになるのです。私のグル、チャンティング、そして弟子としての私の間に違いはありません。私たちは皆、一つの大きな意識、一つの神聖な音になるのです。

ああ、私は何て音楽を愛しているのだろう。

ああ、私は何てチャンティングを愛しているのだろう。

19 世紀のアメリカの尊敬されている詩人、ヘンリー・ワーズワース・ロングフェローは、「音楽は人類の普遍の言語である」と言いました。音楽の旋律豊かな言語を理解できる人は誰でも、どのように音楽が人々を結び付け、人々の心を開き、一体感をもたらす力があるかを知っています。

つい先日の土曜日、「テンプルの中にいなさい」のサツァングで、シャーンバヴィー・クリスチャンが、世界規模の非営利団体であるグローバル・シチズンが多くの音楽家やアーティスト、パフォーマーたちなどと連携して主催した取り組み、「One World: Together at Home (一つの世界: 家にいながら共に)」について話をしました。「One World: Together at Home」は、W.H.O.(世界保健機関)の尽力を支援するために催され、その目的は、現在のパンデミックに応じて人々をつなげることでした。何という取り組みでしょうか！ 何という偉業でしょうか！

私は、多くのシッダ・ヨーギたちがサツァングのすぐ後に、「One World: Together at Home」を視聴したと聞きました。彼らは、それらの歌が彼らの心に安らぎをもたらし、世界への希望を与え、どれほどそれらの歌に感謝したかを話してくれました。

それが音楽の力です。共通の目的、共通の意図、共通のゴールを念頭に置いて一つになる力です。

ああ、私は何て音楽を愛しているのだろう。

ああ、私は何てチャンティングを愛しているのだろう。

現在、COVID-19によって、全世界が試練を——他に類を見ない試練を——体験しています。しかしながら、私たちはシッダ・ヨーギとして、いかなる波にも尊厳と誠実さをもって乗る方法を学んできました。私たちは簡単に心を失ったりはしません。なぜなら、私たちにはグルの恩恵

があるからです。私たちはどのようにチャンティングするかを知っています。私たちはどのように祈るかを知っています、とりわけこの恐ろしい時期に。

私たちは祈らなければなりません。私たち自身のためだけではなく、お互いのために。これは極めて重要なことで、なぜなら、本当に今必要とされている圧倒的にポジティブな変化をもたらすための強さ、能力、あるいは知性は、独りだけで持つことは誰にもできないからです。この世界の向上のために、私たちは一つにならなければなりません。

この途方もなく、対処不可能とも思われる試練を乗り越えるためには、皆が連携する必要があります。私たち一人一人が自分の役割を果たし、そしてそれを誠実に、注意深く、積極的に、寛大に、楽しく、愛を込めて、思いやりと共に、機敏に、優しく、そして利他的に行わなければなりません。私は、グルマリーが教えた美德、サッドグナ・ヴァイバーヴァの助けを借りています。グルマリーが私たちに与えた助言は、とりわけこの時期、私たちはシッダ・ヨーガの道で長年にわたり学んできた美德を呼び起こさなければならないということです。

ああ、私は何て音楽を愛しているのだろう。

ああ、私は何てチャンティングを愛しているのだろう。

なぜ、私は音楽について話しているのでしょうか？

それは…今日の「テンプルの中にいなさい」のサツァングの間、このシッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールでのライブのビデオ配信の間、私たちは音の沐浴(もくよく)をするからです。そう、私は「音の沐浴」と言いました。二人のシッダ・ヨーガの音楽家がインドからこのサツァングに参加し、バジャンを含むインドの古典音楽を歌います。バジャンとは、ヒンディー語で書かれた献身の歌です。



音楽家たちの心をかき立てられる旋律豊かな演奏に続いて、スワミ・ジが再び話しました。

シッダ・ヨーガの道で私が愛する——そして愛してやまない！——ものの一つは、すべてのシッダ・ヨーガのサツァングには次から次へと音楽があることです。私たちは途切れることのない魂の音楽で祝福されているように感じます。

最近、グルマーイが、砂丘がどのように音楽を作るのかについて書かれた記事を読み、それを私に話してくれました。もし細心の注意を払えば、砂丘が歌う時に作るいろいろな音を聞くことができるというものです。

「ナショナルジオグラフィック」と共同研究をしている科学者たちは、背の高い砂丘が作る楽音を研究しました。砂が砂丘の上を滑る時、砂丘は実際にバイオリンを弓で弾く時の弦のように振動します。世界中に、多種多様な音やメロディーを紡いで音楽を創り出す砂丘が何十もあります。

そしてもちろん、私たちは皆、流れる水がどのように歌うかを聞いたことがあります——泉から湧き出て流れ落ちる数段の小さい滝から、優しくゴボゴボ音を立てる小川、流れの速い川の絶え間ないコーラス、海辺の優しい波の子守歌に至るまで。

そして、木々を吹き抜ける風もあります。母親の感情の「さざめき」を描写した 2019 年の母の日のための詩で、グルマーイがその音をどのように書いたかを思い出す人もいるかもしれません。

私たちは塵(ちり)でできています。私たちは水でできています。ですから、私たちは音楽を聞くことができ、音楽を作ることができるのです。

厳密に言えば、私たちがする一つ一つの動きが、音楽の響きを創造しています。音楽のない空間など、この地球にはありません——つまり、音楽はあらゆる所にあるのです。

ああ、私は何て音楽を愛しているのだろう。

ああ、私は何てチャンティングを愛しているのだろう。

今日、「テンプルの中にいなさい」のサツァングの中で、シッダ・ヨーガ・ユニバーサル・ホールのバガヴァーン・ニッテヤーナンダの光り輝く存在の中で、私たちは音の沐浴という贈り物を受け取りました。私たちは人生を変容させるグルマリーの英知について熟考しました。私たちはインドの神聖な音楽に浸り、シッダ・ヨーガの音楽という修行の中で声と心を合わせました。

多くの未知のものでいっぱいのこの試練の時期に、私たちは時を越えたグルの英知に避難することを忘れてはいけません。私たちがそうする時、私たちのマインド、心、魂はその本質を見いだし——そして私たちは、今年のグルマリーのメッセージ、「アートマー・キー・プラシャーンティ 大いなる自己の平安」を体験するのです。

あなたはすでに、やるべきことが分かっています。そしてそれは、恩恵に避難することです。

